令和７年第３回（６月）瀬戸内市議会定例会一般質問通告一覧表

代表質問

発言順序	会派 氏名	質問方法	質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
1	日本共産党瀬戸内市議団 島津幸枝	一問一答	1. 市長の政治姿勢を問う	(1) 物価高騰による市民生活への影響をどのように受け止め、どのような対策が必要と考えているか (2) 選挙戦で、収入増を強調されていたが、具体的には、どのような施策を考えているか	市長
			2. ごみ行政について	(1) 減量化が計画どおり進まなかった要因をどのように考えているか (2) 今後の減量化に向けての方針は (3) 指定ごみ袋の値上げ計画が２月定例会の環境福祉常任委員会で提案されたが、その理由は	市長 副市長 担当部長
			3. 地域ビジネス支援センターについて	(1) 今後の計画は (2) 指定管理者を選定するとのことだが、どのような仕様で管理を委託するのか (3) 商工会との契約はどう進めるのか (4) 事業費の総額を財源と併せて問う	市長 副市長 担当部長

発言順序	会派 氏名	質問方法	質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
1	日本共産党瀬戸内市議団 島津幸枝	一問一答	4. 夏の猛暑対策について	(1) 災害避難所ともなる学校体育館にエアコン設置を (2) 夏休み中に子どもが安心して過ごせる居場所の提供を	市長 副市長 教育長 担当部長
2	明るい明日をつくる会 日下俊子	一問一答	1. 新市長の市政運営について	(1) 新市長の公約は、武久市政を引き継ぎ、瀬戸内市を次のステージに押し上げるというものだが、全てが継承だけか (2) 今年度の財政について問う ① 令和７年度は、過去最高の約250億円の一般会計予算、財政調整基金8.7億円の取崩しとなっているが、どう思うか ② ２月議会の代表質問で、新市長には予算は残っていない、自分で稼いでもらうしかないとの発言があったがどうか (3) 市民との対話の場について問う ① 武久前市長は、セットトークという市民との対話の場を設けていたが、新市長はどうか ② 市長への手紙も市民と市長をつなぐものだったがどうか (4) 駅前整備事業について問う ① 短期計画の終了が見えてきたが、中長期計画はどうなるか ② 長船駅については、武久前市長の４年前の選挙公約でもあるバリアフリー化が残っているが、する気はあるか (5) 都市計画について、今後の進め方はどうするか。また、20年先の瀬戸内市の未来をどう描くのか	市長 副市長 教育長

発言順序	会派 氏名	質問方法	質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
2	明るい明日をつくる会 日下俊子	一問一答	1. 新市長の市政運営について	(6) ふるさと納税について問う ① 瀬戸内市は、吉備中央町に次いで県下２番目のふるさと納税額を誇っているが、今後の取組は ② 他市からのふるさと納税の寄付を海外支援金として寄付するやり方は、議会からも問題提起しているが今後も続けるのか (7) 市民活動を応援する市民活動応援補助金について問う ① 今後も同じやり方を続けるのか ② 瀬戸内市ふるさと団体応援寄付金は、失策ではないか (8) 瀬戸内市こども計画が今年３月にできているが、ソフト面だけでなく、そろそろハード面の幼稚園と保育園のこども園化について全体計画を立てるときではないか	市長 副市長 教育長
3	瀬戸内市民の会 木下公文	一問一答	1. 安全・安心のまちづくりについて	(1) 近年の自然災害を踏まえた防災体制の強化、避難所整備の取組状況は (2) 地域住民への防災意識向上のための啓発活動の取組状況は (3) 沿岸部の高潮及び浸水対策についての取組状況は	市長 副市長 担当部長
			2. 地域経済及び産業振興について	(1) 地元産業の振興策や地域活性化の新たな取組状況は (2) 中小企業支援や雇用創出に向けた今後の施策は	市長 副市長 担当部長
			3. 少子高齢化及び人口減少対策について	(1) 少子化が進む中で、子育て支援策や定住促進策の強化をする必要があると考えるが、取組状況は	市長 副市長 担当部長
			4. 職員の働き方について	(1) 一人一人の業務は適正な業務量になっているか (2) 健康管理、ストレスチェック、メンタルヘルス対策の取組状況は	市長 副市長 担当部長

発言順序	会派 氏名	質問方法	質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
3	瀬戸内市民の会 木下公文	一問一答	5. 今後の政治姿勢について	(1) ふるさと納税や地方交付税の動向を踏まえた収入確保策について、市長の見解は (2) 市長は前市長の政策を引き継ぐと言われているが、具体的にどういった政策を引き継いでいくのか。また今後の方針は	市長
4	かなえの会 秦井誠司	一問一答	1. 本市の活性化及び施策について	(1) 人口減少問題の具体的な課題とそれに対する今後の取組をどのように認識しているのか (2) 人口減少、過疎化、高齢化など課題の多い瀬戸内市ではあるが、黒石市長のこれまでの民間企業での経験を生かした、瀬戸内市を活性化する施策やビジョンはあるのか	市長 副市長
			2. 人口減少・少子化対策について	(1) 「安心して子育てができるまち　瀬戸内」を掲げる中で、人口減少・少子化対策として子育て環境の改善は非常に重要である。このような観点において瀬戸内市の魅力を今後どのように考え、また発信していくのか (2) 岡山県は結婚や子育て環境に関する県民の希望などを「見える化」したツールを公開している。このツールを瀬戸内市として今後どのように活用していくのか	市長 副市長 担当部長
			3. 公共交通について	(1) 公共交通においてデマンドシステムを導入する事例が多いが、瀬戸内市で効率化や利便性向上のためにデマンドシステムを導入する考えはあるのか (2) 公共交通は専門性が高いことから、専門部局を設置する必要があると考えられるが、その考えはあるのか	市長 副市長 担当部長

発言順序	会派 氏名	質問方法	質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
4	かなえの会 秦井誠司	一問一答	4. 教育について	(1) 地域により児童・生徒数に偏りが見られるが、特に小規模校の在り方を今後はどのように考えるか (2) 部活動の地域移行の進捗状況と今後の予定は (3) 邑久中学校は通学バスが運行されているが、増便や時間変更など、より乗りやすく利用しやすい形に変えられないか (4) 瀬戸内市教育支援センターの学習環境を踏まえて、今後はフリースクールへの登校についてどのように考えるのか	市長 副市長 教育長 担当部長
5	公明党瀬戸内市議団 河本裕志	一問一答	1. 市長の所信について	(1) 少子高齢化対策、農漁業の後継者不足対策など課題は山積しているが、瀬戸内市を次のステージに押し上げるという市長の考えを問う ① 物価高騰対策としての市独自の対策は考えないのか ② 児童・生徒の保護者への負担軽減対策をどう考えるのか ③ 学校外教育バウチャーを考えているようだが、学校教育の充実を図るべきではないのか ④ 高齢者が健康で生きがいを持った生活を送るために、公共交通も含め市長はどのように考えているのか ⑤ 高齢者への就労マッチング対策をさらに推進してほしいが、考えは ⑥ 後継者不足対策への考えは	市長

発言順序	会派 氏名	質問方法	質問事項	質問の要旨	答弁を求める者
5	公明党 瀬戸内 市議団 河本裕志	一問一答	2. 市民からの声について	(1) ６月の選挙について、市民からの質問と要望があり、それについて問う ① 投票率が下がった要因はどう捉えているのか ② 投票所から距離のある地域（布浜・知尾・敷井）などでは市営バスのワゴン車を活用して、投票所まで送迎できないか ③ 投票所が非常に混雑していて長い間待たされたと聞く。確認作業に紙の名簿を使い、毎回思うが人員を増やすなど対応は考えないのか。また、７月の参議院選挙への対応は考えないのか ④ 投票区ごとの人員配置は適切か ⑤ デジタル化による投票事務の効率化を図る考えは	市長 担当部長 選挙管理委員会事務局長

個人質問

発言順序	議席番号 氏　　名	質　問　事　項	質　問　の　要　旨	答弁を求める者
6	２番 廣野真智子	1.　応急手当普及員制度の導入について	(1) たくさんの市民の皆様へ、心肺蘇生をはじめ、救命講習を受けていただくため、消防団員をはじめ、瀬戸内市民の方々が講師をすることができる応急手当普及員制度の導入を瀬戸内市では考えているのか	市長 担当部長
		2.　用水路の転落防止対策について	(1) 用水路の転落防止対策について、転落防止柵の設置、対策状況の現状を教えていただきたい	市長 担当部長
		3.　給食調理場の熱中症対策について	(1) 給食調理場の熱中症対策について、暑い季節となり、具体的な対策を考えているのか教えていただきたい	市長 教育長 担当部長
7	15 番 原野健一	1.　農業振興地域について	(1) 都市計画の導入で農業振興地域の見直しが想定される。今後、地目は農地であっても都市計画の用途地域に指定されなかった荒れ果てた農振農用地では、農産法の条件や効力は今までどおり行使できるのか	市長 副市長 担当部長
		2.　小学校統合について	(1) 生徒数の急激な減少を懸念して、小学校の統合を望む保護者の声を多く聞くようになった。旗振り役は別として、仮に牛窓町の３小学校を統合するとした場合、市長部局や教育委員会が考える問題点や課題にはどのようなものが挙げられるのか	市長 副市長 教育長 担当部長
8	10 番 川勝浩子	1.　物価高騰対策について	(1) 国からの「重点支援地方交付金」の積み増し分は、どのように活用する予定なのか (2) 市として、独自の支援は考えないか	市長 副市長 担当部長

発言順序	議席番号 氏　名	質　問　事　項	質　問　の　要　旨	答弁を求める者
8	10番 川勝浩子	2.　行政委員の報酬について	(1) 個人の口座ではなく、町内会の口座に振り込んではどうか	市長 担当部長
		3.　邑久駅の駐車場について	(1) 邑久駅駐車場の利用状況を、中まで入らなくても県道から分かるようにしてはどうか。また、アプリなどを使って確認できる方法を考えてはどうか	市長 副市長 担当部長
		4.　要望書について	(1) 要望書を出して、その後どうなっているか何度も足を運んでいる状況がある。見える化・データ化すべきではないか	市長 副市長 担当部長
		5.　こどもパークについて	(1) こどもパークの計画の見直しが必要とありますが、今までの計画から、どのように変わるのか	市長 副市長 担当部長
		6.　少子化対策について	(1) 男女ともに将来の妊娠・出産について考え、正しい知識を基に健康的な生活習慣を身につける「プレコンセプションケア」の普及・啓発に取り組んではどうか	市長 教育長 担当部長
9	1番 谷　美香	1.　地域資源を活用した子どもの育成力の向上について	(1)　地域のチカラで子どもの未来を開く公営塾を導入してはどうか (2)　豊かな自然を生かした体験学習を導入してはどうか	市長 副市長 教育長 担当部長
		2.　地域の担い手不足について	(1) 周辺地域、特に高齢化が進んでいる地域の溝掃除や草刈り等の負担増と人手不足についての現状と対策は	市長 副市長 担当部長

発言順序	議席番号 氏　　名	質　問　事　項	質　問　の　要　旨	答弁を求める者
9	1番 谷　美香	3.　市民活動の活性化について	(1)市民活動応援補助金について問う ①　現在、どれぐらいの市民活動団体や自治会が補助金を活用しているのか ②　多くの市民活動団体や自治会に補助金が活用されるよう、積極的な周知や支援拡充を考えているか	市長 副市長 担当部長
10	18番 小谷和志	1.　道路整備について	(1) 通学路の改善について問う ①　要望事項に対する達成状況は ②　改善するために予算の増額が必要ではないか ③　美和小学校区の通学路は危険な場所が多い。抜本的な改善策を検討できないか (2) 市道南北線の延長が必要ではないか (3) 整備にあたり地籍図と現状の合致が必要ではないか	市長 副市長 教育長 担当部長
		2.　観光振興について	(1) 瀬戸内国際芸術祭について問う ①　前島も含めてもらうように働きかけるべきではないか ②　小豆島へのフェリー航路を実施すべきではないか	市長 副市長 担当部長
		3.　こどもパークについて	(1) どのような見直しを行うのか (2) 今後のスケジュールは	市長 副市長 担当部長

発言順序	議席番号 氏　　名	質　問　事　項	質　問　の　要　旨	答弁を求める者
11	12番 厚東晃央	1. 公共交通の充実について	(1) 瀬戸内市地域公共交通計画の見直しの進捗状況は (2) 交通不便地域を定義する 400 メートルの見直しが必要ではないか (3) 駅周辺の住宅地でも買い物など外出が難しいという方の声を聞く。デマンドタクシーの導入の検討状況は (4) タクシー不在地域に日本版ライドシェアの導入を検討できないか	市長 副市長 担当部長
		2. 医療体制の充実について	(1) 市民病院について問う ① 日曜日の小児科診察は好評である。小児夜間診療を望む声を聞く。検討できないか ② 皮膚科、耳鼻科の診察日を増やしてほしいと聞く。検討できないか ③ 産婦人科の設置要望を聞く。検討できないか (2) 市内の医療状況を問う ① 市内の医療機関、診療科の状況は。また、今後の継続状況を把握しているか ② 産婦人科、皮膚科、耳鼻科が開業する話はないか	市長 副市長 病院事業管理者 担当部長
		3. 地域ビジネス支援センターについて	(1) 進捗状況と今後のスケジュールは	市長 副市長 担当部長
12	4番 増田貴之	1. 学校給食について	(1) 今年度学校給食費は無償だが、来年度以降の無償化の計画は (2) 学校給食への地産地消率の現在の状況と今後の課題は	市長 副市長 教育長 担当部長

発言順序	議席番号 氏　名	質　問　事　項	質　問　の　要　旨	答弁を求める者
12	４番 増田貴之	2.　物価高騰対策について	(1) 水道料金（家事用）の基本料を今年度無料にしてはどうか (2) 高齢者の補聴器購入の助成制度は 65 歳以上で住民税非課税世帯が対象だが、対象範囲を拡大し、助成額を増額してはどうか	市長 副市長 担当部長
		3.　駅関連の整備について	(1) 長船駅のエレベーター問題について、市が対応してきた経緯と今後の市の見解は (2) 邑久駅、長船駅の駅前整備に伴い駐車場台数が少なくなり困っているとの声を聴くが、その対策は	市長 副市長 担当部長
13	８番 成本　崇	1.　観光推進について	(1) 現在、進めている具体的な観光振興施策は (2) 市営バスの観光面での活用、市外への周知の状況は (3) 旅先納税の今後の促進方法は	市長 副市長 担当部長
		2.　業務の効率化について	(1) ＩＴを生かした業務の効率化の考えは (2) 民間の活力を生かす「共創」に取り組んでは	市長 副市長 教育長 担当部長
		3.　旧牛窓学校給食調理場の活用について	(1) 現在の検討状況は	市長 副市長 教育長 担当部長
		4.　海ゴミの処理について	(1) ボランティア等の清掃活動で集めた海ゴミの処理方法は	市長 副市長 担当部長

発言順序	議席番号 氏　　名	質　問　事　項	質　問　の　要　旨	答弁を求める者
14	３番 原田　茂	1.　学校教育について	(1) 公教育のあり方について問う ①　学力の向上のため、どのような取組を行っているのか ②　優秀な生徒を表彰したり、優秀な生徒をさらに伸ばす方策は考えられないか ③　学力の向上は、人口増など地域社会に好循環を生むと考えるが、見解は	市長 教育長 担当部長
		2.　小学校周辺の通学路の安全確保について	(1) 服部交差点から大用水までの間、自動車やトラックなど交通量が多いにもかかわらず、ガードレールの設置、歩道の拡幅、自転車道の設置等対策が取られていないと考える。通学路の安全対策をどう考えているのか (2) 国道２号線からコーシンボウル北側の東に伸びる県道（福里八日市線）が市営墓地の所で南に向かっている。この道がまっすぐ東に赤穂線を超えマルナカまで整備すれば、学校周辺の交通量も減少すると考えるがどうか (3) 自転車の罰則規定が 2026 年４月に変更されるが、市として、どのような対応をするのか	市長 副市長 教育長 担当部長
		3.　長船駅の整備等について	(1) エレベーターの設置、西側改札口の設置など市民の要望が強いが、どのように取り組むのか (2) コロナ以前の便数の回復や改札窓口への人員配置等、ＪＲと協議をしていく予定はあるのか	市長 副市長 担当部長

発言順序	議席番号 氏　名	質　問　事　項	質　問　の　要　旨	答弁を求める者
15	7番 嶌原　舞	1.　耕作放棄地に対する取組と地域農業の支援について	(1) 少子高齢化により、農業の担い手不足が深刻な問題となり、特に牛窓などの周辺部では耕作放棄地が増え続けている。風光明媚な瀬戸内市を 10 年、20 年先まで維持していくためにも、喫緊の課題として問う ① 耕作放棄地に対する取組の現状と課題は ② 定年帰農者等促進支援事業の現状と課題は ③ 事業規模が１ヘクタール以下の小規模な兼業農家を対象とした補助事業を検討すべきでは ④ 小規模な農地と移住者をマッチングさせるような取組を考えては	市長 副市長 担当部長
		2.　保育園の取組について	(1) 一部の私立保育園が導入しているおむつやお尻拭き等のサブスクリプションを公立保育園でも導入しては (2) 使用済みおむつの処理方法について、保護者が持ち帰っている園数と園で処理している園数は (3) 使用済みおむつを園で処理する場合に、１園にかかる経費は (4) 保護者の負担軽減のためにも、使用済みおむつを園で処理するようにしては (5) 保育士不足解消のため、退職者のリターン制度を導入しては	市長 副市長 担当部長
16	5番 相澤忠明	1.　地域ビジネス支援センターについて	(1) 同センターのソフト事業について、具体的にどのような支援、サービス内容になるよう調整が進められているのか (2) 国や県などの産業支援機関との連携については、どのような形を想定しているのか。また、各機関との連携に向けた調整はどの程度進んでいるのか (3) 事業者の課題解決に対して、伴走支援が行える体制は整備されるのか	市長 副市長 担当部長

発言順序	議席番号 氏　　名	質　問　事　項	質　問　の　要　旨	答弁を求める者
16	5番 相澤忠明	2.　地域のネットワークづくりについて	(1) 自治会内の交流や近隣住民同士のつながりなど地域ネットワークの維持や活性化について、行政としての考え方や支援の方針は	市長 副市長 担当部長
		3.　部活動の地域移行に係る進捗について	(1) 本市における部活動の地域移行について、現在の進捗状況は	教育長 担当部長